

障がいを理解しよう

さまざまな障がいの理解のために

高次脳機能障がいの理解のために

脳卒中などの病気や交通事故などで脳の一部分が傷を受けると、その傷ついた部分により決まった症状がでます。身体のまひや視聴覚の障がいとは別に、思考・記憶・行為・言語・注意などの脳の働きの一部に障がい起きた状態を、高次脳機能障がいと言います。

心のこもったコミュニケーションのために

【不安や混乱の状態にある事を理解する】

- 感情のコントロールがきかない事があります。
- 新しい事を覚えるのが難しいです。

【イライラしたら気分転換を促す】

- 脳にダメージがあると、疲れやすくなります。
- 疲れている事に気づかずにイライラすることがあります。

【これまでの生活を大切にする】

思いがけない病気や事故による障がいのため、本人や家族にとって以前との違いを理解し受け止めるのに時間がかかります。

【ゆっくり、わかりやすく、シンプルに接する】

- 考えるスピードが遅くなります。
- 優先順位を決められず、計画的に物事を進めるのが苦手になります。

内部障がいの理解のために

内部障害とは…体の内部に障がいを持つ方の事、外見からはわからないためにまわりの人に理解してもらいにくい障がいです。

内部障がいの種類

- 心臓機能障がい
- 腎臓機能障がい
- 呼吸器機能障がい
- 肝臓機能障がい
- 膀胱、直腸機能障がい
- 小腸機能障がい
- 免疫機能障がい (HIV)

難病の理解のために

難病とは…

治療がむずかしく、原因がわかっていない疾病を難病と呼んでいます。ただし、きちんとした治療や自己管理を続けられれば、普通に生活ができる状態になっている病気も多くなっています。そのために、現在、「病気をもちながら働く（働き続ける）」事が大きな課題になっています。平成25年4月から「障害者総合支援法」がはじまり、障がい者の範囲に「難病」が加わり、身体障がい者手帳のあるなしに関わらず、障がい福祉サービスなどを利用できるようになりました。現在、障がい福祉サービスなどの対象となる難病は平成30年4月1日時点で359疾病です。

～「ヘルプカード」を活用しましょう～



「ヘルプカード」とは、障がいなどがあり、自分から「困っている」ことをなかなか伝えられない方が、必要な支援を周囲に求めやすくするためのカードです。あらかじめ自分の情報や配慮してほしいことなどをカードに記入しておき、いざというときに提示することで「支援が必要な人」と「手助けをする人」を繋ぎます。災害時の備えや、家族の安心にも役立ちます。